

オルケストラ シンフォニカ 東京

第 37 回

定期演奏会

平成 8 年 4 月 23 日(火) 午後 7:00 開演

浜離宮朝日ホール



プログラム

第1部

指揮：山本雅三

海のセレナータ

堀清隆

流れれ

武井守成

ファイナル ファンタジー VI

植松伸夫

予兆

(編曲：山本雅三)

バトル テーマ

チヨコボ

運命のコイン

蘇る緑

〔休憩〕

第2部

指揮：石黒不二夫

序曲 ローマ～トリノ

D.D. ジョヴァンニ
(編曲：赤城淳)

逝ける王女の為のパヴァーヌ

M・ラヴェル
(編曲：伊藤敏明)

子どもの領分より

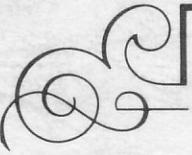
C.ドビュッシー
(編曲：藤掛廣幸)
(編曲：伊藤敏明)

小さな羊飼い

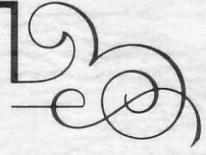
ゴリウォッッグのケイクウォーク

小交響曲 マンドリンの群れ

C.A. ブラッコ



曲 目 解 説



第1部

海のセレナータ

堀 清 隆 (1900~1986)

昭和3年(1928)前後は作者にとって多忙の年であり、作曲活動も最も盛んな時期で、大作を次々と作曲し自らOST(タケイ)を指揮して発表していたが、その中に忘れられた様に存在するのがこの小曲「海のセレナータ」である。

おだやかな波→大きな荒波→そして又おだやかな波……の描写は彼が憧れていた海外渡航への夢を、好きな6拍子のバルカラーレに托して歌い上げている様である。

流れ

武 井 守 成 (1890~1949)

昭和6年(1931)3月の作。作者は自分の曲が描写音楽と言われるのを極端に嫌っていたが、この曲に於ても「単なる流れの描写ではない」と注釈をつけている。

川の流れを見て、彼が何を感じたのか?……雲の流れか?……或は大戦前のこの時期、時の流れが近い将来音楽を抹殺するのを予感したのか?

曲はフルート・クラリネット・ピアノ・ハープを加えた大編成で、嬰ヘ短調の美くしい旋律の流れが、ゆったりと流れ行く。

あまり演奏されない地味な曲であるが、作者の内面的な心境を偲ぶには、よい曲かも知れない。

ファイナル ファンタジー VI [F.F. VI]

植 松 伸 夫 (1959~)

ファイナル ファンタジーは、今やすっかり「遊びの定番」となったテレビゲームのソフトで、数百万本の売り上げを記録している大ヒット シリーズです。

「VI」は1994年に発売された最新作で、勇者たちが様々な土地や町を旅しながら、モンスターとの戦闘や、色々な人々との出会いを経験し、次第に成長し、強くなり、魔法の力で世界を支配しようとする魔物に立ち向かって行く。……というストーリーになっています。

初期のT.V.ゲームでは「ブー・ビー」という単純な電子音だけでしたが、ゲーム機本体の進歩により、かなりの音楽表現が可能となり、ゲーム内容の複雑化と共に、映画音楽のように、場面場面に色々と趣向を凝らした音楽が演奏されるようになりました。それと共に音楽性も向上し、新らしい音楽のジャンルとして注目されています。

この「F.F. VI」も、約3時間にわたる61もの曲がCD 3枚組に収録され、ピアノ用の編曲が出版となり、更にはスカラ座弦楽アンサンブル、ミラノ交響楽団によるミラノレコーディングのC.D.が発売されています。

今回は5曲を抜粋しました。

「**予兆**」は、ゲームのタイトルバック(字幕に流れる音楽)で不気味な物語の始まりを予感させます。

「**バトル テーマ**」は、モンスター(怪物)との戦いの場面です。

「**チョコボ**」は、F.F.シリーズ「I」から「VI」まで共通のキャラクター(登場人物)の駄鳥に似たおかしな鳥で、これに乗って大草原を走り回ります。一寸おどけた音楽。

「**運命のコイン**」は、2人の兄弟の王子が、これから進路を投げたコインの裏表で決めることとし、兄は両面同じコインを使って、自ら危険に立ち向い弟を助ける。……というエピソードの回想シーンに感傷的に流れます。ギターの二重奏が印象的に2度繰返されます。

「**蘇る緑**」は、エンディング テーマで、勇者一人一人のテーマのメドレーの後、F.F.シリーズのテーマ、そして劇的なコーダ(終曲)に雪崩れ込んで行きます。

第 2 部

序曲 ローマ～トリノ

D.D. ジョヴァンニ(?)

ジョヴァンニは中部イタリアのボローニャ生れで、1880年頃からその才能を認められ、主として吹奏楽団に関与して作曲・指揮・教授をする傍ら、ピアノ曲・管弦楽曲・声楽曲・マンドリン系楽曲も多数作曲し、各地のコンクールに応募して受賞している。

この曲の歴史的背景……1861年イタリアを略統一したサルデーニャ王国のエマヌエレII世は、即位の地トリノを首都と定めたが、10年後の1871年までに、ヴェネチア・ローマ教皇領を併合してローマに首都を移し、こゝに全イタリアの統一は完成した。

この曲は1911年、トリノで刊行されていたマンドリン研究誌イル・マンドリーノの第9回作曲コンクールで入賞し、「博覧会への序曲」と言う副題がついているが、1911年は建国50年の節目の年であり、おそらく……祝賀の為の博覧会がローマ・トリノの両都市で開かれ、更に記念事業として両都市間を結ぶ駅馬車が開通した……と思われる。曲には統一国家イタリアの力と、地中海沿岸をひた走る駅馬車の情景が描かれている。

逝ける王女の為のパヴァーヌ

M. ラヴェル(1875～1937)

この曲は1899年にピアノ曲として作曲されたが、ラヴェルは自らこの曲の欠点として、「シャブリエの影響と曲の形式」を指摘して、かなり批判的であったと言われる。1910年、小管弦楽曲に編曲初演されてから、この曲はクラシック・ポピュラーの別なく、コンサートの主要な曲目となった。

曰く有りげなこの曲の題名の由来については色々な説があるが、ロマンチックで面白いのは……ラヴェルはスペインの画家ヴェラスケス(1599～1660)が描いた若くて美くしい王女に見惚れてしまい、その王女が宮廷舞踏会で華やかに踊ったであろう音楽を想像して作曲したのである。勿論この絵は200年以上前に描かれたもので、王女が架空の人物だとしても生きている筈もなく、又王女が踊る舞踏曲は、16世紀初期にスペイン王宮で人気のあったパヴァーヌでなければならなかつた。

そしてラヴェルは、この題名の理由を説明するのに、その生涯の全部を費やしたのである。

パヴァーヌ……スペインが起源とされ、ラテン語のPavo(クジャク)に由来する。威儀のあるゆったりした舞曲で、2/2拍子が普通だが三拍子のものもある。16世紀なかごろから舞踊としては行なわれなくなつたが、舞曲として芸術的なものがつくられた。

子どもの頃分

C. ドビュッシー(1862～1918)

様々なスキャンダルで周囲から非難されながら、二度目の妻エンマ・バルダックと結婚したドビュッシーを喜ばしたのは、翌年(1905)の秋、可愛らしい女の子が生れたことである。クロード・エンマと命名されたが、シューシューという愛称でよく知られている。

もともと子供好きのドビュッシーは、43才になって始めて出来たシューシューを心から可愛がり、「チルドレンズコーナー」の中にある色々なオモチャを、彼女の遊び友達として買って来たに相違ないが、此等のプレゼントに満足せず、彼はシューシューの為に6つのピアノ曲を作った。

- (1) グラドウス アド バルナッスマ博士
- (2) 象の子守歌
- (3) 人形へのセレナード
- (4) 雪は踊っている
- (5) 小さな羊飼い
- (6) ゴリウォッッグのケイクウォーク

の6曲で、本日は(5)(6)の2曲を演奏します。

「小さな羊飼い」……31小節の短い曲でもドビュッシーの音楽の特徴は失われていない。

「ゴリウォッッグのケイクウォーク」……ゴリウォッッグとは当時パリの子供達に人気のあったゼンマイ仕掛けで動く小さな黒ん坊人形のこと。

ケイクウォークとはアメリカの黒人の踊り(一種のステップダンス)のこと。

PROGRAM

尚「子供の領分」という和訳は、この曲集の題名として相応しくないが、現在も使われている。明治末期（1908出版）の日本では未だ存在しなかったオモチャなど子供用品ばかりを陳列した売場「チルドレンズ コーナー」のことです。

小交響曲 マンドリンの群れ

C. A. ブラッコ（1860～1903）

ブラッコの生立ちについてはあまり知られていないが、生前は一流の指揮者として有名であった様である。作曲は管弦楽・吹奏楽向のものが多いが、マンドリン合奏の為に書かれたこの曲は群を抜いて輝き、彼の代表作となっている。1902年イル・マンドリーノ誌の第6回作曲コンクールで金賞をとり同年出版されると、イタリアのみでなくヨーロッパ中の合奏団から歓迎され競って演奏される様になった。

日本では大正7年（1918）、OSTのルーツであるシンフォニア マンドリーニ オルケストラ（武井守成主宰・後のO.Sタケイ）で初演されたが、以来今日に至るまで最多演奏回数を誇るスタンダードNo.となっている。美しい旋律・興味深いテンポの変化・楽器の効果的取り扱い方・卓越せるオーケストレーション・完全な楽曲形式と、この曲に対する先人の評価は高いが、中には辛口の批判もあり、何れにしても20世紀初頭のマンドリン楽界にとって画期的な作品であった。題名通りマンドリニストが集って弾いて楽しむ雰囲気がうかがえる。

加除式法規書・法令解説書出版

中央法規出版社株式会社

本社 〒151 東京都渋谷区代々木2-27-4 電話(3379)3861(代表)
営業所 札幌・仙台・岐阜・大阪・広島・福岡

山本ミュージックコーナー

〒164 中野区東中野1-43-7 JR東中野駅東口南下車3分 TEL(3363)9893

取扱品目

- ★ 手工マンドリン・ギター各種
- ★ 各社マンドリン・ギター
- ★ マンドリン・ギター用弦及附属品

お気軽にお立寄り下さい。

マンドリン教室

平山 英三郎 先生

ギター教室

平山 英三郎 先生

指揮：*石黒不二夫	コンサートマスター：*肥沼成明			
*山本雅三	*本間輝樹			
第一マンドリン：肥沼成明 本間輝樹	新居裕久 秋元興光	田島明子 中込尚子	諸井美津江 村上一二郎	
第二マンドリン：*岡田茂 後藤俊明	藤田正美 深澤秋芳	坂井美佐子 山崎悦子	・横内ふさ子	
マンドラテノール：*岩片順子 田中倭文子	渡辺清 玉木利恵子	佐々木興治 石井啓之	佐藤一徳	
ギターリード：*今津章 山本雅三 沢田行雄	城所敏雄 宮本紀子	西原正 高橋悠介	高橋貴久子 平田陽一	
マンドローラ：鈴木功	宮崎泰行	平山英三郎		
マンドリュート：*宮本皓永				
マンドローネ：高田三九三	*家城孝治			
コントラバス：佐藤正	久保田聰			
フルート：・比護いづみ				
クラリネット：・佐藤道世	路	路		
ピアノ：・浦畠晶子			[*——役員 ●——賛助出演]	
打楽器：・加藤直美				

オルケストラ シンフォニカ 東京 (OST)

代表幹事 今津 章

事務所：〒241 横浜市旭区中尾町82-1 ☎045-363-1046